Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	乳児保育Ⅱ					授業形態	講義		
科目コード	750166	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	児玉 裕美							ICT活用	

授業概要	乳児保育Ⅱでは、乳児保育Ⅰにて学んだ「乳児保育の理念と歴史的変遷及び役割等」、「保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題」について復習するとともに、実際の保育現場における子どもへの対応方法について学びます。次に、乳児モデル（人形）を用いて具体的な援助の仕方を学び、実践につながる保育技術の習得を目指します。さらに、実習等で経験した乳児保育を振り返りや、映像資料を通して保育環境の構成や乳幼児期の遊びの重要性について学びます。
関連する科目	保育者論、子ども家庭支援論、乳児保育Ⅰ、子育て支援
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。１回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、主体的に課題研究に努め、レポートやプレゼン等にて自分の考えを表現します。
授業計画【第1回】	乳児保育の理念と意義
授業計画【第2回】	乳児の愛着関係と基本的信頼関係について
授業計画【第3回】	胎児期・新生児期について
授業計画【第4回】	乳児保育における生活習慣の獲得と援助方法
授業計画【第5回】	乳幼児期の発達と保育内容
授業計画【第6回】	乳幼児期の保育環境
授業計画【第7回】	乳児保育の計画と記録と評価
授業計画【第8回】	乳児保育における関係機関との連携と子育て支援
授業の到達目標	保育者に求められる資質・能力を学び、 1. 保育・教育者としての自覚・意欲を身につける。【態度】 2. 保育・教育実習に向けた自己の課題を把握する。【思考・判断】 3. 保育・教育者として子どもを理解し、育ちを援助する方法を学ぶ。【知識・技能】
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 加えて、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深められるよう努めましょう。確認する内容については授業時間に伝えます。(約１時間)
授業時間外学習【復習】	授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。（約１時間）
課題に対するフィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1）学習意欲（授業中）-50点 2）小テスト及びレポート-20点 3）最終試験-30点
テキスト	『新・基本保育シリーズ　１５　乳児保育Ⅰ・Ⅱ』、中央法規 著者：公益財団法人児童育成協会＝監修／寺田清美、大方美香、塩谷香＝編集 発行日：2019年3月 1日
参考書	適宜紹介します。
備考	